

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		社会基盤維持管理事業		課名	土木課	事業No.	232
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			飯田市舗装長寿命化修繕計画			
				橋梁長寿命化修繕計画			
法令・例規等			建設リサイクル法				
事業目的		対象	飯田市が管理する道路、河川、水路				
		意図	道路、河川、水路の維持管理				

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路を早期に発見・補修すると共に、付属施設の維持管理を計画的に行っていくことで、効率的、経済的に社会基盤の強化を図りました。 また、沿道の支障木や街路樹の管理、冬期の除融雪などを適期に行うことで、安全な交通の確保を図りました。	道路補修事業						218,773			
道路舗装補修事業						232,358					
道路維持管理事業						39,519					
除雪費						77,870					
橋りょう補修事業						19,620					
河川維持補修事業						11,991					
りんご並木管理費						3,572					
街路管理費						28,145					
その他の経費						0					
活動指標		指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	社会基盤維持補修工事	箇所	350	298	350	413	350	358			
	施設補修用資材支給箇所	箇所	150	140	150	108	150	150			
	舗装補修工事	箇所	200	248	200	212	200	198			
	社会基盤維持管理業務委託	箇所	70	43	70	76	65	72			
1年度決算(千円)	予算額	676,210	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	631,848	(国) 社会資本整備総合交付金(除雪) (2/3)								
	財源の状況	国庫支出金	13,246	(地) 過疎対策(充当率100%) 11,600千円							
		県支出金	0	(地) 公共施設等適正管理(充当率90%) 34,700千円							
		地方債	46,300	(そ) 繰越金							
		その他	15,440	30→1 繰越明許費 15,440千円							
一般財源	556,862	1→2 繰越明許費 9,300千円									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	2	10	1	223,229	218,773	道路補修事業費
2	1	8	2	2	11	1	244,674	232,358	道路舗装補修事業費
3	1	8	2	2	12	1	40,816	39,519	道路維持管理事業費
4	1	8	2	2	12	2	100,190	77,870	除雪費
5	1	8	2	4	10	1	23,564	19,620	橋りょう補修事業費
6	1	8	3	2	10	1	11,992	11,991	河川維持補修事業費
7	1	8	4	3	10	3	31,745	31,717	街路管理費
振り返り課題認識		多くの水路、道路施設等の経年劣化・老朽化による損傷箇所が増加する中、迅速に対応する必要があります。特に舗装補修工事を依頼しても、施工業者の手が回らず工事の見送りや繰越が発生しています。災害を未然に防ぐために緊急性の高い箇所から修繕、補修を行っていますが、すべての箇所の対応ができない状況です。委託業者社員の高齢化・人不足のため、維持工事及び除雪対応が難しくなる地域が今後出ることが予想されます。							
上記の課題解決のための有効策		市道の管理方針による点検を行い、市道の重要度を勘案した修繕・補修を進めます。早期発注による維持補修工事の推進を進めます。維持補修体制及び除雪体制の見直しの検証を進めます。							
次年度に向けての取り組み		橋梁長寿命化修繕計画にもとづいた維持補修を実施します。維持補修、除雪体制に係わる業者との懇談会を行います。地区要望で提出された維持補修依頼の早期実施に取り組みます。							